

新社会党山梨県本部第 25 回定期大会へのメッセージ

新社会党山梨県本部第 25 回定期大会のご盛會を祝し、激励と連帯のメッセージを申し上げます。常日頃より働く者の暮らしと権利、日本の平和と民主主義を守る活動が続けられていることに心より敬意を表します。また、中央本部に対してご指導、ご鞭撻をいただいていることに心より感謝を申し上げます。

さて、2 年を超える新型コロナ感染により日常の暮らしや大衆運動はもとより党活動も大きく制約されてきました。第 6 波の感染も下げ止まりの状態が続き、身近な仲間の感染など自民党政治の無能さに腹立たしさを感じます。改めて、国民の命と暮らしを守ることのできる政治が強く求められます。

昨年 10 月の解散総選挙では、野党共闘は一定の役割を果たしましたが、政権交代どころか自民、公明、維新で 3 分の 2 以上の改憲議席を許しました。日本維新の会は改憲を押し進める自民党の外部エンジンとなり、国民民主党も与党に接近しています。

衆議院憲法審査会の定例開催、敵基地攻撃能力の保有、防衛費 2%化、辺野古新基地建設の推進、南西諸島の軍事基地化、台湾有事、ロシアのウクラ

イナ軍事侵攻を悪用した「核共有」や非核三原則の見直し議論など戦後最大の改憲の危機を迎えています。

このような情勢のなかで新社会党は、2月の第27回定期全国大会で夏の参議院選挙に向けて3分の2以上の改憲議席を許さず、「護憲の第3極」の政治勢力の形成をめざし、社民党比例区の共同名簿に兵庫県本部の「おかざき彩子」予定候補を掲載し、全力をあげて戦うことを決めました。また、参議院選挙区では、あくまで野党共闘を基本にした統一候補による戦いを進めていかなければなりません。この選挙戦を通じて来春の統一自治体選挙や党建設につながる党员・機関紙の拡大を実現し、次世代に運動と組織をつないでいくことが重要です。

大会では、多くの発言で活動方針が豊富化され、運動と組織が大きく発展することを祈念します。夏の参議院選挙では比例区の「おかざき彩子」予定候補や選挙区の立憲野党の勝利に全力をあげ、改憲の動きを止めなければなりません。憲法を生かす政治を実現しましょう。

2022年4月23日

新社会党中央本部

中央執行委員長 岡崎宏美

メ ッ セ ー ジ

新社会党山梨県本部第25回定期大会のご盛會を心からお祝い申しあげます。

岸田自公政権は、コロナ感染拡大を口実に、仕事における時間管理の放棄など労働条件の悪化や医療や地域における公的援助の低下を強行しています。

こうした、悪政による生活苦や労働苦などは、コロナ災害の中で爆発的に増えてきています。一方で、大企業や富裕層などは、税制面などでも、優遇され続けているのが実態です。

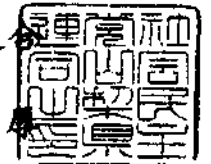
岸田自公政権と闘うすべての野党・市民との結束を固め、暮らしと平和を守る闘いを前進させていかなければなりません。

来る、参議院議員選挙闘争では「選挙区は宮沢ゆかさんの再選」、「比例区は社民党票2%以上の獲得」にむけての更なるご支援とご協力をお願い申しあげます。

2022年4月28日

社会民主党山梨県連合

代表 山田



新社会党山梨県本部第 25 回定期大会へのメッセージ

新社会党山梨県本部第 25 回定期大会に参加されたみなさんに、心からのお祝いと連帯のあいさつを申し上げます。

ロシアは、ウクライナの病院や学校などまで無差別に攻撃し、「核兵器を使う」と世界をおどしています。ロシアによる侵略は国際法違反であり、世界の平和を土台から壊す暴挙です。「市民を殺すな」「国連憲章をまもれ」の声を広げ、国際世論でロシアを包囲しようではありませんか。

ウクライナ危機に乗じて、岸田首相がさげんでいるのは「日米同盟の強化」と憲法9条改定です。安倍元首相や維新の会は「核共有」の議論をはじめようと言いました。「軍事には、軍事を」「核には、核を」というブーチン大統領と同じ立場にたつもので、憲法9条をもつ日本、被爆国日本の政治家、政党として失格です。日本がやるべきことは、9条を生かした平和外交、核兵器禁止条約に参加することではないでしょうか。

コロナ危機によって景気の低迷、生活の困難が長期に及んでいるところに、ガソリン、食料品、電気料金をはじめ物価の高騰がおそいかかり、くらしと営業は深刻な打撃を受けています。ところが政府は、いまだにその対策をとろうとしていません。

社会保障の無残な切り下げに怒りの声を上げ、消費税5%への減税を実現しようではありませんか。大企業の内部留保に課税して中小企業にお金を回し、最賃1500円にしようではありませんか。

参院選では、自公政権とその補完勢力に厳しい審判を下し、政権交代の足がかりをつくる選挙にしようではありませんか。

日本共産党は、参議院選挙で、野党共闘が次につながる成果をあげることができるように、全力をつくします。

ともにがんばりましょう。

日本共産党山梨県委員会 委員長 花田 仁

2022年4月28日

新社会党山梨県本部

執行委員長 丸山 和彦 様

新社会党東京都本部

委員長 福田 実

連帯のメッセージ

本日の新社会党山梨県本部第25回定期大会にご参加された皆様の日頃の活動に敬意を表します。

さて、昨年の衆院選は残念ながら、自・公政権と維新の壊憲勢力が衆議院議席の4分の3を占めました。何としても来る参院選では3分の2議席を阻止しなければなりません。1～2名区の選挙区において、「市民と労働者と立憲野党」の共闘を成功させるために全力を尽くしましょう。加えて、社民党・緑の党・新社会党・無所属議員等の「共同選挙」を成功させ、「護憲の第3極」を定着させ、しっかりした野党共闘を構築できる力量を備えましょう。

ところで、岸田政権は、「敵基地攻撃能力」「軍事費の2%メド」など軍備増強の「力の抑止力」路線を踏襲し、平和憲法を踏みにじています。その道は、ロシアのウクライナ侵攻に見られるように、武力で国際紛争を解決する戦争への道であり人類破滅の道です。いまこそ、憲法9条の理念を内外に訴えることが必要と考えます。

また、軍備増強が進む一方、自公政権は格差拡大と貧困層の拡大を推進してきました。維新は岸田政権の右翼に位置する新自由主義勢力です。軍備増強ではなく、全ての人々の生存権を保障するために、人々の幸せを担保する社会保障制度を作りましょう。そのための財源を大企業や富裕者への「応能負担」で賄いましょう。働く者がつくってきた「莫大な富」は有ります。484兆円の内部留保はその象徴です。一部のものに偏在する莫大な富を、働く者とその家族へ取り戻しましょう。

今夏の参院選では自・公・維新と対決し、大衆を立憲政党側が獲得するために、特に「護憲の第3極」や「新社会党」が獲得するために全力で頑張り合ひましょう。おかざき彩子さん勝利のために全力を尽くし合ひましょう。

最後に、本大会が成功裏に終わり、前進のための大きな一歩を踏み出すことをご祈念申し上げ、皆様へのメッセージと致します。

敬 具

新社会党山梨県本部
委員長 丸山 和彦 様

大会メッセージ

第25回県本部定期大会のご盛会を心からお祝い申し上げます。山梨県本部の皆さんには日頃よりお世話になっております。この場を借りてお礼を申し上げます。

ロシアによるウクライナ侵攻はNATOの東方拡大が背景にあるとはいえ、武力による侵攻は許せるものではありません。連日、テレビで報道される惨状は目を覆いたくなります。1日も早い停戦を願わざるを得ません。

バイデン米大統領は、「民主主義と専制主義」の闘いだとして米欧日の結束を呼びかけ、制裁と軍事支援の強化を打ち出し、ウクライナに大量の武器を供与し戦闘を煽っています。このままでは停戦協議もままならず、長期化による犠牲者は増えるばかりです。いま必要なことは英知を結集し、停戦と和平を実現することだと考えます。日本は平和憲法9条を持つ国として、その先頭に立たねばなりません。

しかし、安倍元首相らは非核三原則の見直しや「核共有」など敵基地攻撃の保持と合わせて「改憲」の動きを加速させています。「戦争への道」を許してはなりません。目前に迫った参院選は、こうした情勢の下で戦われます。日本の進路を決する重大な政治闘争です。もし、この参院選で3分の2議席を許せば、改憲が具体化されることは必至です。

わが党は先の全国大会で社民党との共同名簿方式による全国比例候補として「おかざき彩子さん」を決定しました。この戦いはまともな野党共闘を前進させるための闘いでもあります。千葉県本部も全力を挙げて闘い、次につなげる運動を目指したいと考えています。

第25回山梨県本部定期大会の成功と益々の発展を祈念しメッセージとします。共に頑張りましょう。

2022年4月28日
新社会党千葉県本部
委員長 宮川 敏一

2022年4月28日

新社会党山梨県本部
執行委員長 丸山和彦 殿

新社会党茨城県本部
執行委員長 金子和雄

第25回定期大会への連帯メッセージ

新社会党山梨県本部第25回定期大会の開催を、新社会党茨城県本部は心から祝福し、連帯の挨拶を送ります。

2月24日にロシアがウクライナに侵攻しました。我々はロシアに断固抗議し、即時停戦と撤兵を強く要求するものです。また、ウクライナ危機を奇貨とし、日本の改憲勢力が「敵基地攻撃能力論」「核共有論」等を喧伝していることに断固反対するものです。

安倍、菅、岸田と続く自公政権は、米国の対中戦略により深く組み込まれ、軍事問題に偏重して、米中の仲介役も含めた外交的努力が後方に置かれています。沖縄の米軍嘉手納基地の返還は実現せず、辺野古新基地建設が進み、沖縄県民の民意を全く無視した政治を続けています。茨城県の百里基地も、事前の住民説明会を求める島田穰一小美玉市長や、基地周辺26区長の反対を無視して、欠陥機オスプレイの訓練を強行しました。

昨年3月18日の水戸地裁の東海第二原発差止判決に対し、日本原電・東電は即日控訴し、工事を続行しています。2月28日、日本原電は今年2022年12月を予定していた工事完了を、2024年9月に「延期」することを規制委員会に届け出ましたが、東海村議会の原子力問題調査特別委員会では、原発で重大事故が起きた際の広域避難計画をめぐる、実効性を問題にせず早急な策定を求める請願が村商工会から出され、数の力で強行可決されました。

格差拡大は確実に進んでいます。2021年度最低賃金の全国加重平均額はわずか時給930円です。これではフルタイムで働いても年収200万円以下のワーキングプアの水準です。「結婚の壁」とも言われる年収300万円のためには時給1,500円が必要であり、その実現は政治の力にかかっています。

何としても政治を変えるために、そして護憲の第3極を強化するために、社民党の2%以上の得票率獲得と、政党要件をクリアさせると共に、とりわけ、おかざき彩子の15万票を実現し、国政に新社会党の議席を回復させようではありませんか。

山梨県本部第25回定期大会が実り多いものとなり、山梨県本部がますますご活躍されることを願いつつ、茨城県本部は山梨県本部の皆さんと共に闘うことを表明し、連帯の挨拶といたします。

第 25 回定期大会へのメッセージ

第 25 回定期大会の開催を心からお祝い申し上げます。

他団体との共同行動をとって、安全で安心して生活できる地域運動など、山梨県本部の日頃からの党運動の活動や取組みに敬意を表します。

2月24日のロシア軍によるウクライナへの軍事侵攻は、ミサイル攻撃や核関連施設への攻撃、さらに民間施設への無差別攻撃などが1ヶ月以上に及んでいます。この1ヶ月間だけでもウクライナ民間人の犠牲者は1000人を超え、1000万人以上がウクライナ内外で避難民として惨状に置かれています。

理由はともかく、他国の主権を犯し、武力をもって攻撃し、多くの人命を奪う行為は絶対許すことはできません。ロシア軍のウクライナ侵攻に強く抗議し、速やかな撤退と平和的解決を強く求めます。

国内においては、岸田首相の「敵基地攻撃能力保有論」に加え、ウクライナ危機に便乗した自民党内や日本維新の会から「米国の核兵器共有論」や「非核三原則見直し」など、憲法や国是を蹂躪する右傾的言動が強まっています。

「核兵器の共有」を主張するのではなく、核兵器の「開発・製造・保有・使用」を禁止した国連の核兵器禁止条約を批准すべきであります。

そうした状況下で行われる7月の参議院選挙は大変重要な闘いになります。自民党・公明党・日本維新の会に加え国民民主党までもが改憲に意欲を示しており、平和憲法が危機的状況にあります。

この参議院選挙において「働く者、市民と野党共闘」によって護憲勢力の拡大を果たさなければなりません。そして、社民党の比例名簿から立候補する新社会党推薦の岡崎彩子同志の必勝に向けて、県内党员・党友が全力で闘うことを申し上げて、埼玉県本部からのメッセージとします。共に頑張りましょう

2022年4月28日

新社会党埼玉県本部 委員長 内海勝男